

平成 29 年 5 月 24 日

## DUAL ENERGY CHARGE TRAIN

### 架線式蓄電池電車 **DENCHA** がブルーリボン賞を受賞しました！

毎年、日本国内で前年に営業運転を開始した鉄道車両の中から、特に優秀と認めた車両に対し、「鉄道友の会」が、ブルーリボン賞を選出し、表彰しています。

このたび「2017年ブルーリボン賞」を筑豊本線・篠栗線で走行している「BEC819系(DENCHA)」が受賞しました。

#### ■ 受賞車両の紹介

車両コンセプトは「人と地球の未来にやさしい次世代型車両」であり、架線のある電化区間においては交流電車としてパンタグラフから電気エネルギーを取り入れて走行(架線走行モード)し、架線の無い非電化区間においては車両に搭載した主回路蓄電池に蓄えた電気エネルギーによって走行(蓄電池走行モード)します。気動車から電車システムに置き換わることによりエンジンの騒音・振動・排気ガスがなくなり、動力費およびメンテナンス費用の削減、回生ブレーキによる電気エネルギーの再利用等、環境負荷の低減に大きく寄与し、電車になることで沿線イメージ向上などの効果も期待される車両として受賞しました。

編成	2両編成	
主な走行区間	筑豊本線(若松線) 若松～折尾【非電化区間：10.8km】	
	筑豊本線・篠栗線 折尾～桂川～博多【電化区間】	
営業開始時期	先行車(1編成)	2016年10月
	量産車(6編成)	2017年3月



BEC819系(DENCHA)



主回路蓄電池箱



客室

(参考)

鉄道友の会車両顕彰(ブルーリボン賞 1958年制定) 会員の投票結果をもとに選考委員会が利便性や快適性、環境対応、新技術の有効活用などを評価し、最優秀車両にブルーリボン賞が授与されます。